

Poetry, Song and the Story of the Land

縁舎巡礼

詩と歌と 土地の語り

私たちが愛してやまないふるさとのような場所、
それが縁舎。
掛変川町谷汲長瀬にあるこのカフェを舞台に、
詩と音楽と旅の話による小さなフェスを開催します。
— 管啓次郎 —

【出演者一覧(出演順)】

新井高子 (詩人)
大洞敦史 (作家・三線奏者)
渋谷敦志 (写真家)
管啓次郎 (詩人) + 関島種彦 (音楽家) + ながつかゆうか (画家)
小島敬太 (音楽家・作家) + ながつかゆうか (画家)
伊藤岳 (剛鉄の旅人)
Michael Jackson Project (山口暢子 + 平野昇)
前林明次 (サウンド・アーティスト)
kawole (音楽家) + 名方千恵 + 大松多永 + 山崎重希 + hisaka + 城田真澄
川瀬悠 (詩人・映像人類学者) + マッスン (ダンサー)
+ いまをまこと (アーティスト)

2025年

11月1日(土)

13:00~18:00 (12:30開場)

参加費 3,000円 + 1drink order

縁舎 ENSHA

岐阜県掛変郡掛変川町谷汲長瀬1550
善立寺境内
予約 090-5627-8700 (縁舎)

緑舎巡礼「詩と歌と土地の語り」プログラム

No.1 新井高子（詩人、口承文芸研究）「ことばの旅、夢の足」

旅をすると、おのずとことばの出会いもあります。思いがけず、そこから創作がはじまることも。わたしのそんな道行きをお話ししながら、秋の晩、旅人が道端で遭遇した光景を綴った詩を朗読します。

No.2 大淵敦史（台南在住作家、翻訳家、三線奏者）「三線で奏でる台湾民謡」

レコードが普及し、日本や西洋の音楽が町に流れるようになった1930年代の台湾で「台湾人による台湾の歌を」求める声が高まり、若き作曲家、作詞家、歌手たちが、今なお親しまれている名曲を世に送り出しました。三線でそれらの曲を弾き語ります。

No.3 渋谷敦志（写真家）「始まりも終わりもない旅」

カメラ片手に世界中を旅してきた。だが、旅とはなんだったのか、なんなのか、なんでありうるのか。問いばかりが堆積してゆく。これまでに撮影してきた多様な写真を横断的に組み直してみると、どんな響きや流れが生じるのか。そのプロセスで旅の新たな意味をこの場で探っていきたくと思っています。

No.4 菅野次郎（詩人）+ 関島種彦（音楽家）「土地が口ずさむ歌」

八戸の詩人・村次郎や宮沢賢治の詩に管が曲をつけたもの、また管作詞作曲のオリジナルの歌を、ジブシーバイオリンを中心とする多楽器奏者の関島の即興とともにお送りします。背後で、ながつかゆうか（画家）のライブペインティングが進行します。

No.5 小島敬太（音楽家、作家）「鮎とギターと山こんにゃく」

ギター弾き語り。谷汲のウォーキング体験から生まれた楽曲を中心に、「谷汲組曲」を発表予定。背後で、ながつかゆうか（画家）のライブペインティングが進行します。

No.4~ No.5 ながつかゆうか（画家）「もぐら、もぐり、もぐる」

即興ライブペインティング。共演者が奏でる詩や音楽から受けとった色やイメージを、その場でキャンパスに映しだします。

No.6 伊藤岳（銅鉄の旅人）「ブラジル、満州、フクシマ」

大きな歴史の流れの中で幾人かの祖先が辿った旅路がわが人生に交差する幾つかの出来事について。スライド映写を交えた語りをお楽しみください。時選詩人の名曲カバーもアコースティックの響きと共にお届けします。

No.7 MJP Aco. (vocal 山口暢子/ guitar 平野昇) 「Michaelの名曲をアコースティックで」

MJP (Michael Jackson Project)はマイケル・ジャクソンのトリビュートバンド。アルバムごとのコンプリートライブで全曲制覇中。今回は MJP Aco.として、ギターとヴォーカルのアコースティックデュオならではのアレンジでMJの名曲をお届けします！

No.8 前林明次（サウンド・アーティスト）「Deep Time in Tanigumi」

映画『惑星ソラリス』の1シーンをモチーフとして、さまざまな「自然」の音をコンピュータによりコラージュし、ライブ演奏をおこないます。機動的な音響イメージをどこまで広げていけるのか・・・少し遅めのお昼寝の時間です。

No.9 kawole（音楽家）+ 名方千恵 + 大松多永 + 山崎亜希 + hisaka + 城田真澄

「Canto con Caja ~ 北部アルゼンチン先住民伝承歌」

カント・コン・カーハはアルゼンチン北部アンデス山岳地方の先住民によって古くから歌い継がれてきた伝承歌。手作りの素朴な小太鼓「カーハ」の響きに合わせ、大地や自然と対話し、コブラと呼ばれる短い詩や即興を交えながら日々の営みを祈りとともに歌い紡ぐ声の芸術です。

No.10 川瀬慈（詩人・映像人類学者）+ マッスン（ダンサー）+ いまをまこと（アーティスト）

「無題 Untitled」

川瀬慈による創作神話を起点に、鬼才踊り子・マッスン（竹野真澄）と、竹竹バンブー楽団のいまをまことが即興で呼応し、新たな聖域を立ち上げる。

